

報 廣 しばた

新春号

JAN. 2014

No. 627

since 1961



2014

笑顔あふれる一年に

何回か練習して、お馬さんに直接ニンジン
をあげられるようになったのは、小
学校1年生の家村美悠ちゃん（写真左）
と伊藤愛梨ちゃん（写真右）。純粋無垢な
“しばたっ子”を、お馬さんは優しげな瞳
で見つめています。

〔船迫字土平にて〕



柴田町長 滝口 茂

「花のまち柴田」をテーマに

人と企業を呼び込む まちづくりの推進

— 魅力的な都市や農村空間の創造 —

2014年

新年のごあいさつ

新年おめでとうございます。

昨年、アベノミクスによる経済政策が功を奏し、久しぶりに日本経済に活気がでてきた年となりました。町も、アベノミクスの第二の矢「機動的な財政政策」などをうまく活用し、槻木中学校の校舎新築や校庭整備、船迫小学校の大規模改修など、学校教育環境の整備を行ったほか、通院や入院にかかる子ども医療費の自己負担分を中学校3年生まで無料とするなど、子どもたちのことを最優先にした施策を実施することができました。

また、長年の懸案事項であります水害対策については、西住地区において約65億円の規模で、鷺沼排水路の改修工事着手するとともに、名取用水への槻木四日市場分水門の設置や船岡・西船迫地区の冠水対策などに取り組みました。さらに、富沢16号線の道路改良工事着工をはじめ、56路線の道路の改修工事、槻木生月公園や新栄4号公園の整備を行い、公共インフラを強化することができました。

その結果、平成21年4月にまとめた、中長期的視点で取り組む、平成21年から30年までの「10ヶ年の待機事業」の進捗率は、この5か年で目標の72%に達しました。

このように大型の投資を行い、快適で住み良い生活環境が整備されたことが高く評価され、人口の増加につながり、特に槻木地区の人口の伸びが著しいものとなりました。私たちは、もっと自分たちの住んでいるまちに自信と誇りを持つてもいいのではないかと思います。こうした勢いを今後とも持続し、将来の発展に結びつけていくためには、刻々と変化する時代の潮流を的確にとらえ、間違いない羅針盤を持たなければなりません。

今年の最大の関心事は、4月1日からの消費税率引き上げの問題です。地域経済や地方自治体の財政にどのような影響が出てくるのか、注視していかなければなりません。さらに、コメの生産調整廃止といったコメ政策の大転換や介護保険制度の大幅な見直し、今後、老

朽化していく公共インフラへの対応など、喫緊の課題は山積みです。

次々にやってくる荒波を乗り越え、誰もが安心して暮らせるまちを築いていくためには、行政と住民が自らの考えや発想の下に、将来の柴田町のあるべき姿を描き、それを実現するための政策を立案し、実践に移していくことが求められます。

「自分たちのまちは自分たちの手でつくる」といった気概を持ち、まずは汗をかくことが大切です。自らは何もしない批評家ばかりでは、まちが良くなるはずはありません。

東日本大震災から3年目を迎え、復旧工事がほぼ完了したことにより、今年、地域資源に新しい価値を付加する観光のまちづくりをさらに進化



森林の新鮮な空気と景観が魅力の、里山ハイキング

(1) 魅力的な景観の形成

させ、多くの人や企業を呼び込み、にぎわいや新たなビジネスチャンスを拡大していくことで、まちを元気にしていきたいと思えます。

今年、未来に向けての展望を切り拓く第一歩として、5つの政策目標を掲げ「人と企業を呼び込むまちづくり」を進めて参ります。

今後の成長戦略としては、町内外から多くの人を呼び込むための美しい街並みの形成や「住んでよかつた」と言える、魅力的な生活空間の整備に力を入れていく必要があります。引き続き、花咲山構想の推進を図るとともに、白石川の親水公園

や里山ハイキングコースの整備に努め、魅力的な景観を形成して参ります。「花のまち柴田」を切り

口に、四季折々の自然風景や彩り、歴史や文化資源を活用しながら、人と人との交流の場、自然とのふれあいの場として、第一回アジサイまつりの開催や新栄5号・6号公園の整備を図り、人が集うにぎわいのあるまちづくりを進めます。

さらに、景観を大きく損なっている、空地や空家への対策も進めて参ります。

(2) 安心・安全なまちづくり

高齢に伴う健康不安、一人暮らしや二人暮らしによる孤独感・孤立感を感じ、誰もが健康で安心して地域の中で暮らせ

るよう、「みんなで支え合う協力社会」の実現に向けた取り組みを強化します。

今年、新たに健康づくりポイント制度を導入して、健康寿命を延ばす運動を展開するとともに、地域の人と人が心をつなげる場づくりや高齢者の見守り活動を活発にして、地域における新たなセーフティネットの構築に努めます。

さらに、自然災害や犯罪の未然防止に向けて、冠水対策の本格的な工事を実施し、入間田20号線や槻木169号線、中名生2号線などの老朽化した道路の改修に取り組みます。また、子どもたちの通学路をはじめとした学校周辺の道路を起点に、防犯灯の増設や交通安全施設などの整備を行い、防災安全対策を強化しま

す。

安全な生活環境を脅かすことが懸念されるインシシへの対策は、個体数の削減に向けて、新たに奨励金制度を設けます。

そのほか、村田町にある、老朽化した柴田斎苑の建て替えについては、関係自治体などと早急に話し合いを行い、建設に向けた結論を出せるよう努めます。

(3) 教育・子育て支援の充実

町の最重要課題と位置付けている学校校舎や体育館の大規模改修を、今後も、実施計画の通りに進めて参ります。特に今年度は、槻木小学校のプールを浄水型として整備するとともに、各種遊具などの学校教育施設の整備を充実させます。また、

子どもたちの学力を向上させるための施策、障がいを持った子どもたちや子育てに関する経済的・心理的不安を払拭するための施策も継続して実施します。

新たに、子育て・子育てを支える環境整備として、子育て相談機能の強化や保護者などの活動支援を図るため、中核的な機能を持つ、(仮称)船迫

こどもセンターを6月までに建設し、また、地域においては、子どもたちが自由に来館し活動できる地域児童館を、12月までに三名生地区に完成させる予定です。

さらに、民間で認定こども園が整備できるよう支援策を検討します。社会教育に関しては、新たに地域総合型スポーツクラブの設立に向けた支援と柴田球場の改修を行います。

条例などによる優遇措置を講じ、企業の立地や投資を促すとともに、地元企業や商店の経営力・商品開発力の向上を図り、販路開拓を支援するため、空き店舗を活用した新たなビジネス機会の提供、地元企業への発注機会の拡大に取り組みます。

また、「(仮称)槻木まちづくり研究会」を立ち上げ、槻木地区の将来像や活性化について議論を深めていきます。

さらに、農工商連携による6次産業化に向けた取り組みを支援し、新しい特産品の開発やグルメづくりを通じて、商店街のにぎわいと観光まちづくりのステップアップにつなげる政策もあわせて実施します。

こうしたまちづくりを進めるためには、その原動力となる農業や農村が



槻木、四日市場地区の洪水対策のため、雨水を稲荷山用水路から四日市場排水機への導水路に排水するための「四日市場分水門」



(仮称)船迫こどもセンターの完成が待ち遠しい、子育てサークルチェリーのみなさん(船迫公民館にて)

(4) 地域循環型経済の活性化

地域経済が持続的に成長・発展していくためには、外発的な産業振興と内発的な産業振興をリンクさせ、地域循環型経済の活性化を図る必要があります。そこで、引き続き、柴田町企業立地促進

元気でなければなりません。そこで、競争力のあがる農業の振興を図るため、農地集積や大区画化を図るほ場整備やアグリツーリズムを推進します。

(5) 地域力の再生

人と人との絆を再びつなぎ、近所づきあいを深め、安心して暮らせる地域社会をつくるためには、地域住民自らの力で地域の課題を解決していくとする、地域力の再生が求められています。

住みよいまちは、「私の個人の問題」ではなく、「私たちの問題」という認識を持ち、地域における支え合いや助け合い、見守りなどの活動をとおして、作られていくものです。

今年、住民自治の輪を広げていくという気

運を醸成するとともに、地域のみなさんが策定した地域計画に基づき、地域と一体となって元気な地域づくりを進めて参ります。

地域住民が支え合い、いままで以上に活気あふれる地域となることで、なお一層、町全体が「住みよいまち」へと発展します。柴田町に「行ってみたい」「住んでみたい」といった、魅力が高まっていくものと思っています。みなさまと一緒に、「花のまち柴田」のタウンセールスを強化し、町の魅力を国内外に情報発信できる推進体制の整備を図って参ります。

最後に、今年、第5次柴田町総合計画前期基本計画（平成23年度～平成26年度）の最終年度を迎えます。着実に計画を実

行していくとともに、今後、後期基本計画（平成27年度～平成30年度）で予定される待機事業や将来を見据えた大型の公共施設、例えば、防災公園の核となる総合体育館、本格的な図書館、野外スポーツ施設、文化ホール、学校給食センター、世代間交流施設やケア付高齢者住宅などの建設に向け、

町民のみなさまとの合意を得ながら進めて参ります。事業化に当たっては、平成15年度から平成24年度までの9年間に町債（借金）が27億円減り、逆に基金が（貯金）9億円増え、財政の資金繰りが好転してきたことを好機ととらえ、また一方で

は、「入るを量りて出ずるを制す」といった財政規律の基本を踏みはずすことのないよう肝に銘じながら、積極的に機動的な投資戦略を展開して参ります。

今年も「花のまち柴田」のレベルアップに全力投球して参りますので、どうぞよろしく願います。

今年、完成・継続および新規に着手する主な事業

■完成する主なもの

- ・ 槻木中学校校庭整備工事（平成26年3月）
- ・ 船岡新栄5号公園整備（平成26年3月）
- ・ 船岡新栄6号公園整備（平成26年12月）
- ・ 船岡東43号線の整備（平成26年3月）
- ・ (仮称)船迫こどもセンター建設事業（平成26年6月）
- ・ 三名生児童館新築工事（平成26年12月）

■継続中のもの

- ・ デマンド型タクシーの運行（平成24年～）
- ・ 富沢16号線の整備（平成22年～）
- ・ (仮称)さくら連絡橋の整備（平成24年～平成28年）
- ・ 白石川堤外地環境整備（平成24年～平成28年）
- ・ 鷺沼排水区雨水対策事業（平成24年～）
- ・ 集落営農水田担い手対策事業（平成23年～）
- ・ 放射性物質の吸収抑制対策事業（平成24年～）
- ・ 花き生産販売戦略対策事業（平成25年～）
- ・ 地産地消推進野菜周年栽培施設補助事業（平成25年～平成27年）

■新規に着手する主なもの（予定）

- ・ しばた健康づくりポイント事業（平成26年～）
- ・ 北船岡町宮住宅3号棟新築工事（平成26年～）
- ・ ほ場整備事業（平成26年～）
- ・ イノシシ捕獲奨励金事業（平成26年～）
- ・ 再生可能エネルギー等導入補助金事業（平成26年～）
- ・ 槻木小学校浄水型プール新築工事（平成26年10月～）
- ・ 地域総合型スポーツクラブ設立支援（平成26年～）
- ・ (仮称)槻木まちづくり研究会の設置（平成26年～）
- ・ 学校給食センター施設整備改修工事（平成26年～平成27年）

新しい年を迎えて 一歩ずつ進もう！この1年

仲間たちと融和団結！ 船岡城址公園を、 東北を代表する観光地へ

柴田町シルバー人材センター
阿部正廣さん
(船岡地区・68歳)



新年あけましておめでとございます。

私は、柴田町シルバー人材センターに入会してから、今年で6年目を迎えます。割り当てられた業務は、観光地等整備事業として、主に、船岡城址公園で植栽や清掃などをしていきます。この業務を行う会員は現在15人いて、私は班長として、この5年間なんとか頑張ってきました。

この作業を始めた頃の城址公園は、女性が一人では歩くことができないくらい無造作に草木が生い茂っていました。毎日、作業を進めていくうちに公園内の景観が良くなり、ウォーキングに来られる方や観光客のみさんの数が増えてきている様子を見ると、私もうれしくやりがいがあります。

今年も、この仕事を無事に続けられるように健康を保ちながら、この船岡城址公園が東北を代表する観光地となるよう心掛け、頼もしい仲間たちと融和団結し、整備を進めていきたいと思っています。

新年のご挨拶を申し上げます。

東日本大震災後、石巻市雄勝町から柴田町に移り住み、3年目を迎えるようとしています。あの津波は、私の生まれ育った雄勝町を襲い、多くの親戚、友人、知人の命と財産を奪いました。震災後しばらくは涙が枯れることがなく、とても辛い日々でした。

最近ようやく、震災のことを振りかえらるようになり、天気の良い日は、私と同じ雄勝から移り住んだ友人と、散歩やお茶を飲みながら故郷を偲んでいます。いつまでもよくよしてはいられません。雄勝では、長い間地域の行事に関わってきましたので、人と人とのつながりはとても大切だと思っています。これからは、たくさん柴田町の方の顔を覚えていきたいです。

故郷は忘れられません。今でも雄勝の友人宅に行き、雄勝の空気を味わいながらおしゃべりしてきます。故郷を想いながら前を向いて、健康で明るく生活をしていきたいと思っています。皆様、今後ともよろしくお願い申し上げます。

故郷を忘れず、 前を向いて明るい生活を

杉山きみ子さん
(船岡地区・73歳)



私は、祖父の代から菊を栽培している花き生産農家に生まれました。父とともに約1haの畑で菊を栽培するようになり、今年で7年目です。良質な菊を育てるには、適切な温度管理と水やりが大切です。また、病気になるような土壌改良や消毒も必要です。まだまだ父には追いつけません。早く父に認められるよう、日々、勉強しています。

菊の栽培が盛んな柴田町ですが、生産農家はだんだん減ってきています。祖父や父から受け継いだ技術をしっかりと身につけ、さらに磨きをかけて、柴田町の菊の品質を高めていきたいです。

プライベートでは、息子がサッカーをしているので、練習や試合にもっと顔を出して応援してやりたいと思っています。生産農家としても父親としても大きく成長できるように1年にしていきます。

菊の品質を向上させ、 花のまちを盛り上げたい

花き生産農家
平間健一さん
(小成田地区・31歳)



利用者さんのために スキルアップ 今年は挑戦の年

特別養護老人ホーム第二常盤園
平間 恵さん
(入間田地区・22歳)



私は、特別養護老人ホームで介護員をしています。まだ3年しか経験していませんが、この仕事にとてもやりがいを感じています。みなさんは、介護員という職業について、どのようなイメージをお持ちですか？ 夜勤もあるのですが、とてもきつい仕事と思っていることでしょうか。私は、仕事で落ち込んだ時は、友達とドライブやショッピングで気分をリフレッシュしています。つらいことばかりではありません。利用者さんからの感謝の言葉や笑顔は、仕事へのモチベーションが上がります。

私は、この介護という職業が、私自身を成長させてくれると感じています。そこで、この2014年にチャレンジしようと思っっているのが、介護福祉士の国家資格を取得することです。利用者みなさんが、より快適な生活を送ることができるように、私のスキルを高めたいです。今年は、私にとって「挑戦の年」になります。

子どもたちと地域を見守る 頼れる防犯実動隊員に

柴田町防犯実動隊員
佐久間 亜理沙さん
(船岡地区・36歳)



私は、昨年の11月に柴田町防犯実動隊に入隊しました。日頃、自分の子どもが小学校に通う時に、地域の方々がボランティアの「見守り隊」として子どもたちの安全を守っている姿を見て、私も地域の安全に貢献していきたいと思ったからです。

我が家では、知らない人に名前を聞かれたり追いかけられたりした時にはどうすれば良いのか、「防犯ごっこ」をして、子どもに自分を守ることを教えています。子どもたちや地域の安全は、防犯実動隊をはじめ地域のみなさんで見守っていければ、もっと心強いはずですよ。

入隊したばかりで、防犯パトロールの仕方など勉強中ですが、今年は、子どもたちや地域のみなさんをしっかり見守り、頼られるような防犯実動隊員になっていきたいと思っています。

いっぱい思い出を つくって卒業したい



西住小学校 6年生のみなさん

安海 あずみ

隼 しゅん さん (西住小学校6年生)

西住小学校に入学して、友達がいっぱいできました。休み時間は、みんなと校庭でサッカーやドッジボールをして、いつも楽しく遊んでいます。授業では、理科の実験や図工で工作をすることが好きです。

将来は、プロボクサーになりたいくて、キックボクシングのジムに通っています。練習はつらいけど、ミットを撃つたりするのが楽しくて、いろいろな技ができた時は、本当にうれしいです。今の目標は、回し蹴りを覚えることです。

僕は今年、中学生になります。小学校を卒業するまで残り少ないけど、みんなで思い出をいっぱい作りたいたいです。そして、中学生になったら、新しい友達をつくって、楽しい学校生活を送りたいです。また、将来の夢であるプロボクサーになれるよう、今まで以上にがんばっていききたいです。

平成26年7月のオープンを目指して

(仮称)船迫こどもセンターの

新築工事が始まりました

問 子ども家庭課 TEL 55-2115
FAX 55-4172



3つの機能を持った施設

(仮称)船迫こどもセンターは「児童館」「子育て支援センター」「子育てボランティア団体などの活動拠点」の機能を持つ、総合的な児童福祉施設です。

(1)児童館機能

子どもたちが安心して放課後を過ごすことができる場所を提供し、他

世代との交流を深めながら健やかな成長を促す、従来の児童館機能を維持しています。

槻木児童館・三名生児童館・西住児童館と連携した中央児童館としての役割を担います。

(2)子育て支援機能

子育て支援の拠点として、家庭での育児不安の相談や指導、育児に関する情報交換、子育てをする親同士の交流の場を提供し、地域の子育て家庭を支援する取り組みを促進します。

(3)子育てボランティア団体などの活動拠点機能

子育てボランティア団体や子育てサークルなどの活動や交流を強化し、団体などが気軽に事業に参加・参画できる環境をつくりまします。

施設の 平面図

多目的ホール

軽運動ができるように天井を高くし、夏冬でも快適に過ごせるよう空調設備を備えています。集会や講演会で利用したり、映画上映したりすることができま



室

器具庫

ホール

施設概要

- 主要用途：児童福祉施設 ○構造：木造平屋建て
- 建物面積：731.32 m²
- 事業費および財源

事業費：3億2,155万円
 (財源 国県：2億4,269万円 町：1,586万円
 地方債：6,300万円)

木のぬくもりを感じる施設
 船迫児童館跡地に新築され、耐震性と耐久性にすぐれた災害に強い施設です。
 町有林のスギ・マツを構造材や壁板に使用し、木の持つ弾力やぬくもりを感じる造りです。床には、電気式床暖房設備を備え、裸足でもほんのりと温かみがあります。
 また、隣接する公園と一体的な園庭とすることで、子どもたちがのびのびと屋外での遊びを楽しむことができます。



駐車場

こどもセンター入り口前に障がい者用駐車スペースと自転車・バイク置き場を備え、建物北側には26台分の駐車スペースを確保しています。

ホール・廊下

天井を高くすることで、開放的な空間が広がり、風と光をふんだんに取り入れます。また、床はフローリング、腰壁はスギ材で落ち着いた温かみのある造りとなっています。

子育ての部屋

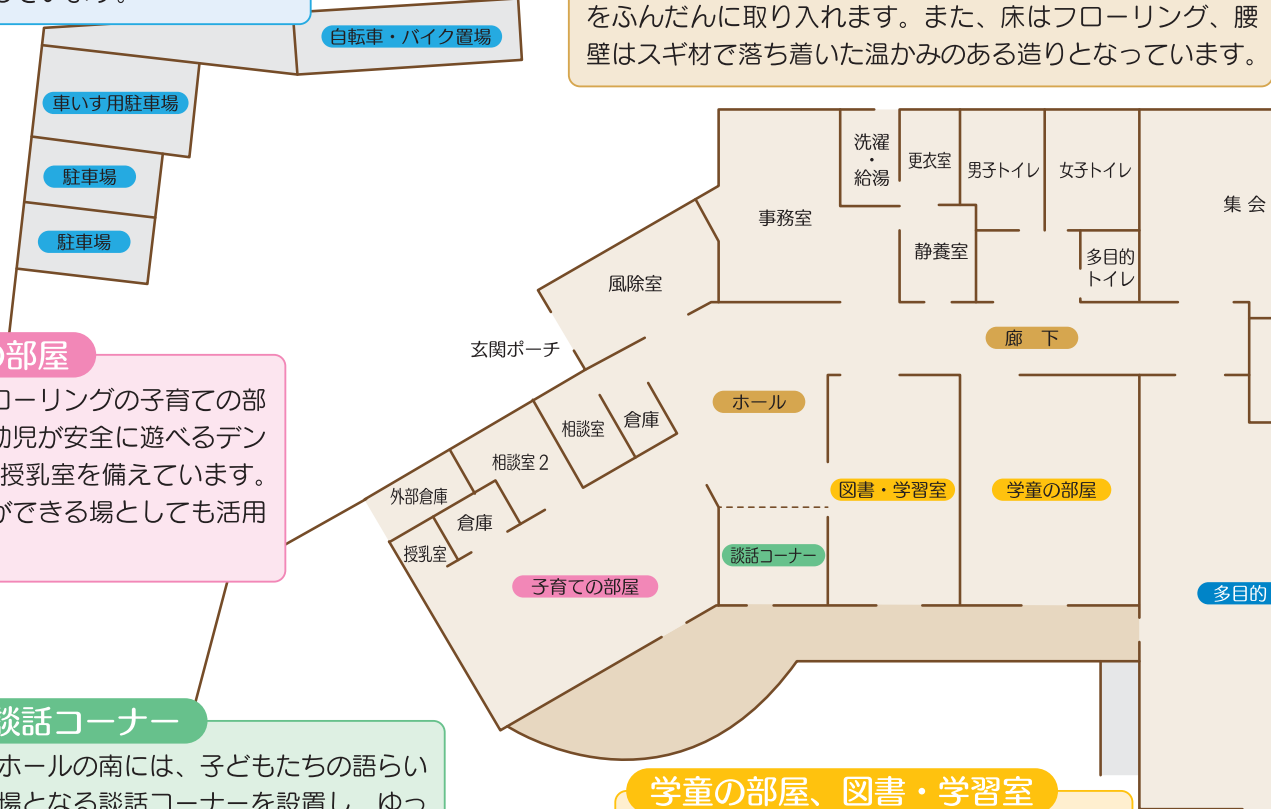
コルクフローリングの子育ての部屋には、乳幼児が安全に遊べるデン（隠れ家）と授乳室を備えています。預かり保育ができる場としても活用できます。

談話コーナー

ホールの南には、子どもたちの語らいの場となる談話コーナーを設置し、ゆったりとしたスペースの中で交流を深めることができます。

学童の部屋、図書・学習室

子どもたちの学習空間として、四季を通して暖かい光が差し込む南側に「学童の部屋」「図書・学習室」を配置しています。



「健康は食から歯から元気から」

柴田歯会長 吉田 鐘一

食は命の源です。生涯美味しく、楽しく食べるためには歯と口の健康を保つことが大切です。

子供の頃からゆっくりとよく噛んで食べる習慣を身に着けさせてください。よく噛むことで顎や歯ぐきが鍛えられ、歯並びにも良い影響が出ます。また、唾液の分泌がよくなり虫歯の予防（歯の再石灰化）にもなります。

大人になると歯科健診の機会が減ってしまいます。虫歯の治療は大切ですが、歯を失う原因の8割は歯周病です。歯周病の多くは自覚症状がないまま進んでしまう厄介な病気です。歯周ポケットに住み着いている歯こうはバイオフィルム（細菌が固まりを形成しバリアとしても働く）と呼ばれる細菌叢（粘膜に常在する微生物の集団）です。排水管の汚れと似ていてとても頑固にこびりついているため歯ブラシだけではなかなか取り切れません。

定期的に歯科健診を受けて歯と口腔の健康を保ちましょう。



歯科相談
歯科医による

問 健康推進課 TEL 55-2160

楽しく食べて！よく噛んで！ 歯っぴー 食育フェスタ



11月16日(土)、食べることから健康な生活を考えることを目的とした「歯の大会」と「食育推進大会」をで開催しました。

歯科医による歯科相談やフッ化物塗布、咬合力測定、歯を強くする料理を家族で作るかむかむキッチンなどが行われ、「歯」と「食」を見直すよい機会となりました。

また、「家族で食べたい簡単カルシウムたっぷり料理」レシピコンテストの表彰式も行われました。



レシピコンテスト受賞者のみなさん

☆最優秀賞 槻木小学校5年 高橋 利紘さん親子
レシピ名『太陽の村』

☆優秀賞 槻木小学校5年 佐々木 愛里花さん親子
レシピ名『オクラとおからでワントンスープ』

☆優秀賞 槻木小学校6年 齋藤 聖也さん親子
レシピ名『なっとうチーズしそのはるまき』

健之助さんと小林さんは、槻木生涯学習センター主催の「我が家の庭づくり講座」も受講されており、そこで学んだ技術を地域や子どもたちのために発揮されています。



います。そんな中、しばたっ子応援団の高橋健之助さん、勝子さん夫妻と小林良雄さんに、植木剪定の心強い支援をいただいています。



人手や費用がかかる広大な校地内の環境整備は、学校にとってはなかなか手が掛けれず、悩みどころとなつて

学んだ技術を地域に還元

みんなで育てる
笑顔輝く
元気なまち!!

しばたっ子応援団

活動紹介③

植木剪定活動支援



植木の「正しい姿」に感動

植木剪定にまで手が回らないまま数年…。もうすっかり未剪定の植木の姿に慣れてしまいましたが、今回、ボランティアのみなさんに剪定していただき「植木の正しい姿はこうだったんだ！」と感動しています。



長期間、手入れが行き届かなかったため、一本一本の剪定に時間がかかり、ボランティアのみなさんには、大変なご苦労をお掛けしました。
(西住小協働教育担当…伊藤直樹先生)

植物を慈しむ心を

少しでも整備されたきれいな環境で、学校生活を送ってほしいと話す健之助さん。黙々と作業に取り組む「大人の後ろ姿」は、子どもたちに「植物を慈しむ心や生命を大切にする気持ち」を伝えるようです。

問 生涯学習課 ☎55-2135



健康情報クリップ

なるほど!

みんなの健康ライフ シリーズ 9

第9回目のテーマは「おせち料理と健康」です。

年末年始はごちそうを食べる機会が多く、塩分や糖分を取りすぎてしまいます。特に、お正月に食べるおせち料理は、保存性を高めるために味付けが濃くなっています。食べる量や栄養バランスに気を付けて、美味しいおせち料理を楽しみましょう。

☎ 健康推進課 TEL 55-2160
FAX 55-4172

正月太りにならないために

○野菜をプラス1品食べましょう

- 野菜にはカリウムが多く含まれており、体の中の余分な塩分を排泄する作用があります。おせち料理を食べ過ぎたと思ったら、野菜料理を1品取り入れてみましょう。

○食事の時間を決めて、

すぐに後片付けをしましょう

- 目の前に食べ物があると、お腹が空いていなくても、つい、手が伸びてしまいます。食べたらずその都度片づけましょう。食べ過ぎを避けられます。

○食べ過ぎたら体を動かしましょう

- お正月は、体を動かす機会が少なくなりがちです。歩いて初詣に行くなど積極的に体を動かしましょう。食事の後にすぐ寝ると、体に蓄積される脂肪分が多くなり肥満の原因となります。

お正月の伝統食

元日に豊かな1年を願って食べるおせち料理。1つ1つの料理には、それぞれ意味があります。黒豆は「まめに働く」、昆布巻きは「喜ぶ」にかけられています。かまぼこは日の出を象徴し、田作りは五穀豊穡を願い、そして、栗きんとんはその色を黄金色の財宝にたとえて豊かな1年をもたらす福食です。

「おせち料理」の特徴

- 砂糖が多く使われているためカロリーが高い

砂糖が多く使われているもの

栗きんとん

黒豆

伊達巻



- 塩分が多いため食べ過ぎると高血圧になりやすい

塩分が多く含まれているもの

昆布巻き

田作り

かまぼこ



保健師からのアドバイス

1月7日は、人日(じんじつ)の節句です。お正月最後のこの日は、七草粥を食べて1年の豊作と無病息災を願います。丁寧に細かく刻まれた七草粥は、お正月のご馳走で疲れた胃を休める効果もあります。七草粥を食べて、今年1年を健康に過ごしましょう。(町保健師)

広 告

広 告

まちかど NEWS



のど越しも抜群の新そば



柚子を使った料理もたくさん紹介されました

町内産のそばと柚子を満喫 NEWS

秋晴れとなった11月23日(土)、しばた新そばまつりが、柴田町太陽の村で開催され、来場したみなさんは柴田高原そば粉100%の新そばを堪能しました。名取市から訪れた佐藤佐知子さん、茉奈さん親子は「初めて柴田町の新そばを食べました。香り豊かでも大満足の様子でした。また、同時開催の第2回しばた柚子フェアでは、取りたての雨乞産柚子の販売や柚子料理の試食・展示会が行われました。

災害に強い地域づくりを NEWS

11月25日(月)、「男女共同参画の視点による防災ワークショップ」が開催されました。大きな災害が発生した時、男女では必要な支援物資が異なることや支援活動が異なることを踏まえて、女性が参画しやすい地域の防災組織をつくり、災害に強い地域づくりを目指すものです。

上名生地区の堀内幸有里さんは「このようなワークショップをもっと開催して、多くの人に参加してほしいです」と話してくれました。



講師は、東日本大震災女性支援ネットワークの池田恵子さん

広 告

広 告



浮かび上がった光文字

イルミネーションの輝きに包まれて

NEWS

12月7日(土)、船岡駅前、槻木駅前、船岡城址公園で冬の風物詩となったイルミネーションが点灯しました。また、白石川の河川敷に「支え合い」の光文字も浮かび上がり、それぞれの会場は幻想的な雰囲気にも包まれました。船岡駅前で点灯の瞬間を見ていた船迫在任の鈴木かなさんは「とても綺麗で感動しました」と話してくれました。槻木駅のイルミネーションは、今月の11日(土)まで点灯しています。

一緒に遊ぼう！ 各地域の子ども会が遊びの交流

NEWS

子どもたちの交流を深める「柴田町子どもフェスティバル」が、11月17日(日)、農村環境改善センターで開催されました。各地区の子ども会が工夫を凝らした「遊びのお店」は人気があり、約580人が集まった会場内は、笑顔に包まれました。西住小学校6年生の門馬裕人君は「他の小学校の子と遊ぶのは楽しい」と感想を述べてくれました。このイベントは、子どもたちの健全育成を目的に、町子ども会育成会連絡協議会が開催しました。



「かおりぶくろを作りませんか」にぎわう遊びのお店



企業の説明に耳をかたむける来場者

農工商連携で町を活性化

NEWS

産業技術の向上を図り、農工商連携による新しい産業を発掘することを目的とした「しばた産業フェスティバル」が11月24日(日)、船岡小学校の校庭を会場に開催されました。実行委員長の佐藤力さんは「産業の活性化は、町の発展につながります。イベントを通して楽しく暮らせる町になってほしいです」と語ってくれました。また、同体育館では環境フェアが同時に行われ、企業が取り組む環境活動などが紹介されました。

広 告

短歌

コンチワと老人会に誘われし「爺年おやとしなんぼ」と孫まごほくそ笑む 本船迫 森田 貞六
 急に降るお天気雨の嬉しさよ なぜか幼にかえる一瞬 船岡 沢田 順子
 信号に復興車両連なりて 目礼おくるに笑みて敬礼 船岡 つかのめ けいこ
 独居ひとりぼの小さな神棚春迎へ 夕べ来たかや四方よっぺの神々 葦神 葛
 寒い朝志子田の旦那手をかざし 大事に育てた大輪の菊師 槻木 谷澤美奈子

川柳

凍りつく庭でサザンカ咲いている 船岡 阿部美代子
 漬物の大根白き霜の朝 船岡 伊藤タイ子
 来てみれば心がおどるふるさとよ 西船迫 安ヶ平良三
 沢山のしあわせ願ねがい年女 西船迫 渡辺 晴奈
 思いやり心にしみる奥ぶかさ 槻木 つきのき町子
 助け合いメタセコイアの光かがやき 槻木 加藤 利通
 歩るいたら普段ふだ気づかぬことばかり 四日市場 齋藤夢太郎

楽たの天あまが希望与える日本一 四日市場 坂本 一風
 掃除機の音に負けない母の声 上名生 西村 久子
 しみとみと母の教おしえを振り返る 船岡 阿部トクエ
 振り返る母の笑顔がそこにある 船岡 佐藤 益子
 新築の家で迎えるお正月 船岡 鈴木 智子
 噛かまれて益えきに細こる老いの脛 船岡 萩原 善助
 初雪はこんなものさと掃く背広 船岡 島貫よし雄

俳句

初山河そのかなたなる我が山河 槻木 永井 堯
 人しれず花を咲かせる冬わらび 西船迫 玉手みき子
 初霜やイヌワシ踊る翁倉山 西船迫 安ヶ平奈津枝
 蔵王山白雪輝き日に映えて 船岡 安藤 節子
 柿のれん下げてみたいなりビングに 葉坂 青柳 陽子
 絡らめればか細き指に初詣出 大槻 信吉
 山茶花や踏み石埋め黄昏に 槻木 大泉かずえ
 伝統の紙漉すく行事六年生 小野 憲彦
 「日本を愛せ」キーンの初談話 上遠野三恵

手袋の片方だけの孤独かな 鎌形 清司
 消えしものみな在ることし初山河 鈴木 三山
 青墨せいぼくの滲にじみ寒気の増す夜かな 鈴木 清子
 雪女不意にまはりし換気扇 鈴木 幸子
 初日の出波の無限をきらめかす 相馬カツオ
 餅台もちだいに群れてこぼれし初雀 松崎 利保
 山神の小さき祠ほこらに餅の花 江戸 裕子
 鶴飛んで青空の青うらがへる 石母田星人

あなたのお店や会社をPRしませんか?

広報 しばた 有料広告募集

- 発行日・発行部数：毎月1日(年12回)発行 15,300部
- 配布先：町内全世帯および各公共施設、町内外の関係団体
- 広告の規格：1枠 縦45mm、横86mm
- 広告掲載料：10,000円/1回(1枠)
- 募集枠数：広報紙1回につき12枠(広報紙1回につき1者あたり2枠まで)
- 掲載基準：「町民に不利益を与えないもの、中立性」などを考慮します。詳しくは、柴田町有料広告掲載要綱をご覧ください。

平成26年4月からの「広報しばた」に掲載する広告を募集します。お店や会社のPRなど暮らしに役立つ広告をお待ちしています。



- 申込方法：所定の申込書に原稿を添えてお申し込みください。申込書などは町ホームページよりダウンロードできます。
- 申込期限：平成26年3月3日(月)

申問 まちづくり政策課 ☎ 54-2111 ☎ 55-4172
 ホームページ <http://www.town.shibata.miyagi.jp/>

広 告

広 告



夢空間 2014



はなちゃん (ペンネーム)



女王の番犬 (ペンネーム)

smile kids

お子さん (4歳まで) の写真をお待ちしています。写真の裏にお子さんの名前を必ず書いてください。投稿者の住所、氏名、電話番号、子どもの名前・生年月日を明記し、「ひとこと」を添えて応募してください。

こども美術館



「たのしいきょうそう」

船迫小学校3年

佐藤 颯仁 さん



「セロひきのゴーシュ」

船迫小学校5年

太田 帆風 さん

ふれあいマイタウンは、町民の皆さんからの応募・紹介でつくるコーナーです。俳句・川柳・短歌に興味がある(こうほう文芸)、とても素敵な方なので紹介したい(人間もよう)、自己表現コーナー(夢空間 2014)、子どもの成長の写真やかわいい孫の写真載せたいという方(町内にお住まいの4歳以下のお子さん)、はがき、手紙などで1月10日(金)まで応募ください。

■連絡先/まちづくり政策課 ☎ 54-2111

広 告

広 告

思いを胸に

『ゴルフ場とともに歩みたい』

町内で働く若い世代の方の思いや夢などを紹介するコーナーです。



小野さんと、小野さんを慕う後輩キャディのみなさん
(左から、日和田桃子さん、高橋のぞみさん、小野明日香さん、新関真緒さん、中森琴さん)

県下有数のゴルフ場として知られ、多くのゴルフファンから「とても綺麗な名門コース」「戦略性に富み、また挑みたくなるコース」と評価の高い表蔵王国際ゴルフクラブ。このゴルフ場の顔として、ゴルフファンへのおもてなしをする若手キャディの小野明日香さんを紹介します。

株式会社表蔵王国際ゴルフクラブ

小野 明日香 さん(23)
おの あすか

丸森町から通う小野さんは、キャディになって5年。先輩キャディも大勢いるので「私はまだまだ」と謙遜さみです。ゴルフやコースの知識もさることながら、体力も必要とするキャディの仕事はつらいのでは?と質問すると「泣いたことはないです。仕事でつらいのはUV対策!」と明るく答えてくれました。そんな小野さんを「なんでも相談できるお姉さん」と後輩キャディのみなさんは慕っています。営業部の加治優一係長も「面倒見がよく、若手のまとめ役」と頼りにしています。

「キャディ室では、ベテランから若手までのキャディみんなが家族のようにして和んでいます。このゴルフ場とともに歩みたい」と小野さんは言います。第一線で活躍するキャディの精神は、この部屋で世代間を受け継がれてきたのでしょうか。ゴルフアールのみなさん、歴史ある表蔵王国際ゴルフクラブの名門コースを、小野さんをはじめ、すばらしいキャディとともに攻略してみませんか。

株式会社表蔵王国際ゴルフクラブ 柴田町大字船迫字日光 48



昭和40年10月31日に、県内4番目として開場した歴史あるゴルフ場。蔵王連峰を望む雄大な27ホールは、とても魅力的で、多くのゴルファーに愛されています。JCBクラシックが、19回開催されたことでも有名なゴルフ場です(平成16年まで開催)。



グリーンへのピッチマーク直しをする小野さん

人口と世帯数
(平成25年12月1日現在)



38,635人
(前月比27人減)



19,205人
(前月比7人減)



19,430人
(前月比20人減)



15,107世帯
(前月比5世帯増)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。

特集

21

新しい年を迎えて一歩ずつ進む2014年の
(表紙) 船迫のキャディの新しい仕事が始まる

2014年1月1日(627)号 発行/宮城県柴田町 編集/まちづくり政策課
〒989-1692 宮城県柴田町柴田船迫中央2丁目3番45号 ☎0224-54-2111
FAX 0224-55-4172 URL http://www.town.shibata.miyagi.jp/